

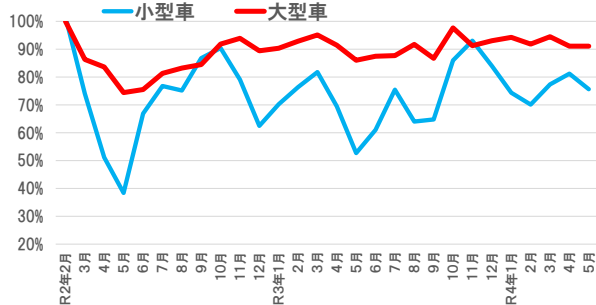
新型コロナウイルス感染症の拡大により、**物流機能を担う道路の重要性**を再確認。物流や観光はもとより、高度医療施設への救急搬送の支援など安全で安心な暮らしの確保に不可欠な**高規格道路をはじめとする道路整備の促進**が必要。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に安心して暮らせる住環境への意識が高まってきており、引き続き、**多様化する生活様式等への対応**が必要。

■ 道民の生活や社会活動を支える道路網の早期形成

本道の高規格道路の整備は、全国に比べ大幅に後れており、いまだ未整備区間が多く残されている状況にあり、地域の中核をなす北見市、函館市などの人口10万人以上の都市が、未だにネットワークで結ばれていない。

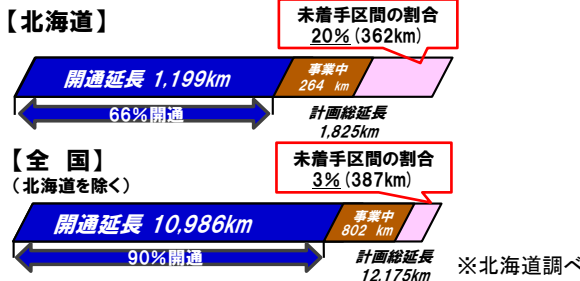
▼高速道路の主な区間の交通量増減(R元年比)



▼救命救急センターが所在する都市



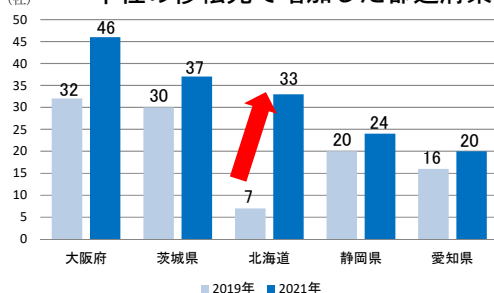
▼(旧名称)高規格幹線道路の延長(R4.3.31時点)



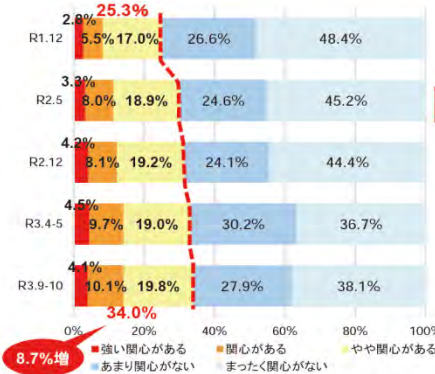
■ 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に地方移住への関心が高まっており、北海道への企業の移転等もみられるが、一方で地方での暮らしの課題に買物の利便性や医療・福祉等の生活環境を挙げる割合が多い。道内の定住・交流を促進するには、各種施設へのアクセス性を高めるため道内の交通ネットワーク強化が必要である。

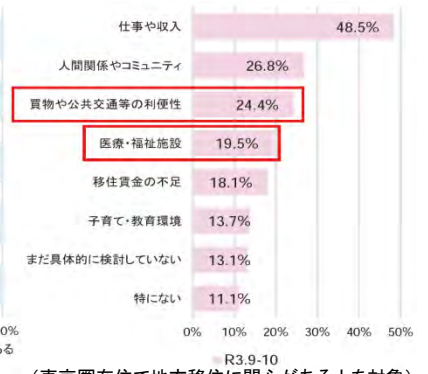
▼コロナ前と比べ首都圏からの
本社の移転先で増加した都道府県



▼地方移住への関心



▼地方移住にあたっての懸念



【出典：(株)帝国データバンク「特別企画：首都圏・本社機能移転動向調査(2021年)」】

【出典：第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府)】

◎高規格道路等ネットワークの形成

主な要望箇所

●高規格道路の整備促進

・着手している区間の早期開通

北海道縦貫自動車道：七飯^{ななえ}～大沼公園間、士別剣淵～名寄間
 北海道横断自動車道：阿寒～釧路西間、足寄^{あしよ}～陸別^{りくべつ}小利別間
 帯広・広尾自動車道（忠類大樹^{ちゅうるい}～広尾間）、日高自動車道（日高厚賀～東静内間）、
 旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）
 倶知安余市道路（国道5号）（再掲）、端野高野道路（国道39号）（再掲）
 音威子府^{おとねつぶ}バイパス（国道40号）（再掲）、尾幌糸魚沢^{おぼろいとぎわ}道路（国道44号）（再掲）
 道央圏連絡道路：長沼南幌^{なんぼろ}道路、中樹林^{なかじゅりん}道路
 旭川十勝道路：旭川東神楽^{ひがしかぐら}道路、富良野北道路
 遠軽北見道路：生田原^{いくたはら}道路
 創成川通（国道5号）

・未着手区間の早期着手

北海道縦貫自動車道：七飯藤城^{ななえ}～七飯^{ななえ}間、美深北^{おとねつぶ}～音威子府^{おとねつぶ}間（再掲）、中川^{ほろのべ}～幌延^{ほろのべ}間（再掲）、豊富北～稚内間
 北海道横断自動車道：黒松内^{くつちゃん}～倶知安^{くつちゃん}間（再掲）、釧路別保^{べつぼ}～厚岸町尾幌^{べつぼ}（再掲）、
 厚岸町糸魚沢^{いとぎわ}～温根沼^{おんねとう}間（再掲）、女満別空港～網走間（再掲）
 旭川・紋別自動車道（上湧別～紋別間）、日高自動車道（東静内～浦河間）
 函館・江差自動車道（木古内～江差間）
 遠軽北見道路、旭川十勝道路、釧路中標津道路、渡島半島横断道路、根室中標津道路、
 函館新外環状道路、帯広空港道路、松前半島道路、帯広圏連絡道路、道東縦貫道路

●高規格道路の機能向上

・「高速道路における安全・安心基本計画」における4車線化優先整備区間の早期着手・完成

北海道横断自動車道：千歳恵庭JCT～十勝清水IC（再掲）
 北海道縦貫自動車道：登別室蘭IC～伊達IC（再掲）、国縫^{くんにい}IC～八雲^{わっさむ}IC（再掲）、和寒^{しべつけんぶち}IC～士別剣淵IC（再掲）

・追加インターチェンジの整備やジャンクションの改良等

北海道横断自動車道：釧路空港IC（仮称）の早期完成
 長流枝^{おさるし}スマートIC（仮称）の早期完成
 小樽JCTの早期完成（小樽⇒余市乗り入れの整備）
 本別JCTの早期着手（本別⇒足寄相互乗り入れの整備）
 利便性向上に資するスマートインターチェンジの調査、検討（新得スマートIC（仮））

・安全性と速達性、定時性の向上

追い越し車線の追加などの整備



2環状8放射

～広がれ!北海道高速道路ネットワーク～

北海道横断自動車道 占冠～十勝清水
※4車線化事業中

北海道横断自動車道 蘭越～倶知安
※計画段階評価中



令和4年度新規事業化箇所
日高自動車道 静内～東静内

令和4年度新規事業化箇所
帯広・広尾自動車道 豊似～広尾

未着手区間一覧表(令和4年3月31日現在)

| No. | 路線名 | 区間 |
|-----|--------------|------------|
| ① | 北海道縦貫自動車道 | 七飯藤城～七飯 |
| ② | | 美深北～音威子府 |
| ③ | | 中川～幌延 |
| ④ | | 豊富北～稚内 |
| ⑤ | 北海道横断自動車道根室線 | 黒松内～倶知安 |
| ⑥ | | 釧路別保～厚岸町尾幌 |
| ⑦ | | 厚岸町糸魚沢～温根沼 |
| ⑧ | 北海道横断自動車道網走線 | 女満別空港～網走 |
| ⑨ | 旭川・紋別自動車道 | 上湧別～紋別 |
| ⑩ | 日高自動車道 | 東静内～浦河 |
| ⑪ | 函館・江差自動車道 | 木古内～江差 |

| 凡 例 | | |
|-------|----------|---------|
| 高規格道路 | 供用中(4車線) | ==== |
| | 供用中(2車線) | ===== |
| | 事業中 | ■ ■ ■ ■ |
| | 未着手 | ○ ○ ○ ○ |

| 凡 例 | | |
|-----|--------|---|
| 空 港 | 国 管 理 | ✈ |
| | 特定地方管理 | ✈ |
| | 地方管理 | ✈ |
| 港 湾 | 国際拠点 | ⚓ |
| | 重 要 | ⚓ |

「高速道路における安全・安心基本計画」における4車線化優先整備区間

| No. | 路線名 | 区間 | 延長 (km) |
|-----|-----------|--------------|---------|
| ① | 北海道横断自動車道 | 千歳恵庭JCT～十勝清水 | 87 |
| ② | 北海道縦貫自動車道 | 登別室蘭～伊達 | 18 |
| ③ | | 国縫～八雲 | 17 |
| ④ | | 和寒～士別釧淵 | 14 |

計136km

◎物流交通ネットワークの形成

連携と交流を支える総合的な交通・物流ネットワークの形成や都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備の推進

主な要望箇所

●物流ネットワーク形成のための道路網の整備

- ・ 空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路の整備
【北海道横断自動車道(阿寒～釧路西間)(再掲)、足寄～陸別小利別間(再掲)、帯広・広尾自動車道(忠類大樹～広尾間)(再掲)、国道337号中樹林道路(南幌町・江別市)(再掲)、尾幌糸魚沢道路(国道44号)(再掲)、山花鶴丘線(釧路市)、花川通(石狩市)など】
【旭川十勝道路 富良野北道路(中富良野町、富良野市)(再掲)、旭川十勝道路 旭川東神楽道路(旭川市・東神楽町)(再掲)など】
- ・ 交通不能区間の解消 【国道452号盤の沢道路・五稜道路(芦別市・旭川市・美瑛町)など】
- ・ 道州制特区推進法に基づく移譲事業の着実な推進 【特定道路事業交付金 ^{なよろ} 名寄遠別線(遠別町)】

●都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備

- ・ 都市の円滑な交通を確保するためのバイパス、環状、放射道路の整備 【見晴通(留萌市)など】
- ・ 渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備 【永山東光線(旭川市)など】

【空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路の整備】

▼旭川東神楽道路(旭川市・東神楽町)



【整備効果(混雑解消)】

交通混雑の状況



旭山動物園入口付近の渋滞



旭川東神楽道路は、北海道縦貫自動車道と旭川空港を連絡する唯一のアクセス道路にも関わらず、「東神楽町市街地」、「旭山動物園入口」などで混雑が発生。

【整備効果(事故削減)】

交差点内追突事故



旭川東神楽道路は、大型車の比率が旭川市内全域と比較しても非常に高い。現道は、車両対車両の事故が大半を占めており、大型車が関連した事故も発生。

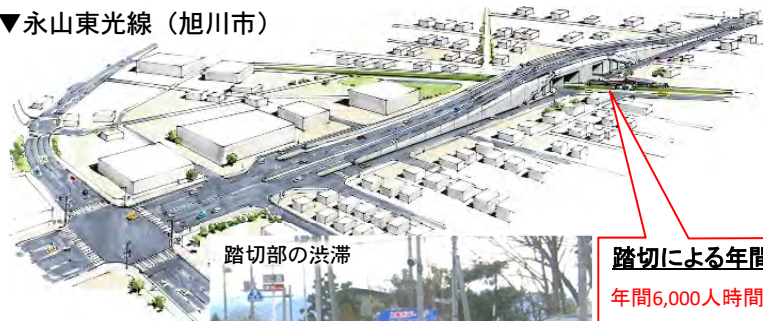
【道州制特区推進法に基づく移譲事業の着実な推進】

▼名寄遠別線(遠別町)



【渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備】

▼永山東光線(旭川市)



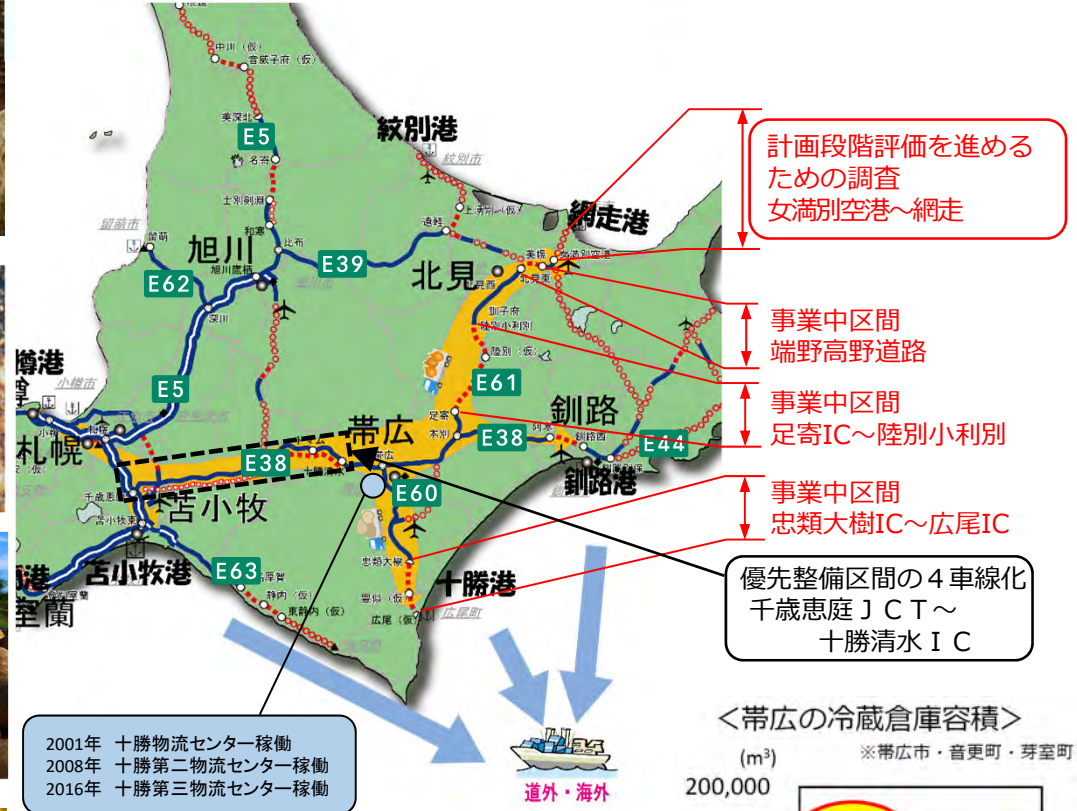
踏切部の渋滞



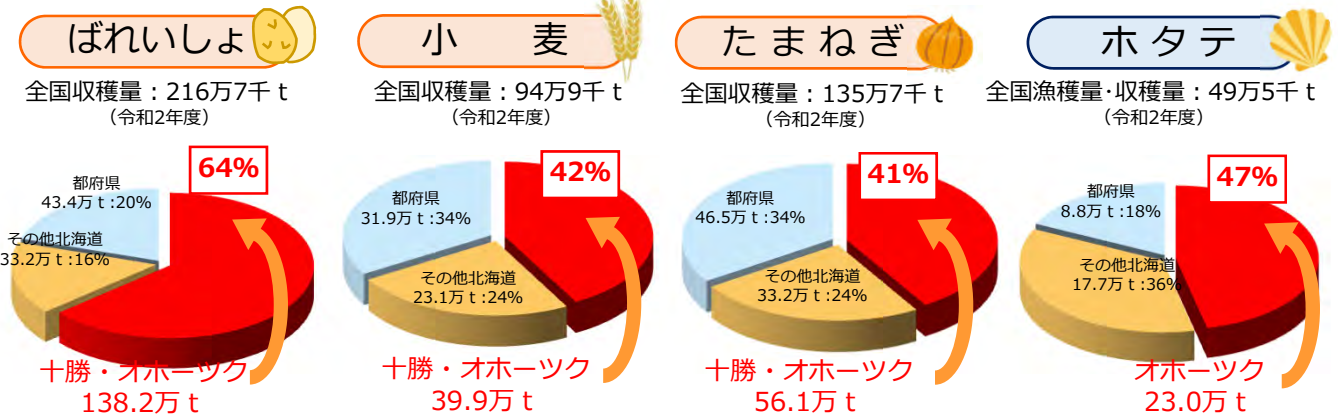
踏切による年間損失時間
年間6,000人時間の損失！！

【道東、オホーツクエリアの物流ネットワークの構築整備】

北海道の農水産物は国内の食料供給を支えており、特にオホーツク・十勝圏は生産性の高い地域。当該道路の整備により、全道のみならず、全国各地へ出荷される農産物の物流利便性向上が期待される。



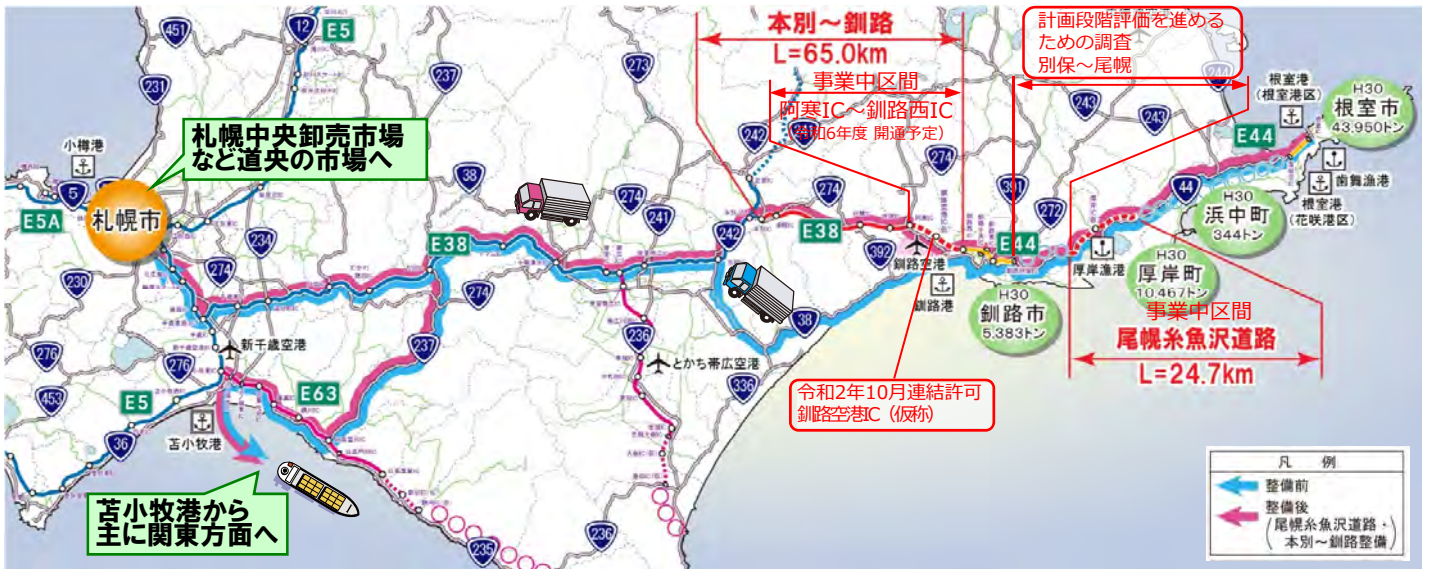
▼農水産物の全国収穫・漁獲量



【水産品の流通利便性向上】

釧路・根室エリアのさんま水揚げ量は全国の約4割を占め、これを含む北海道産さんまの東京都中央卸売市場での取扱量は全国1位を誇っている。

道東自動車道の開通により、輸送時間の短縮による加工作業時間の増加に伴い、1日の生産量が向上するなど、水産業の加工作業効率化が期待される。



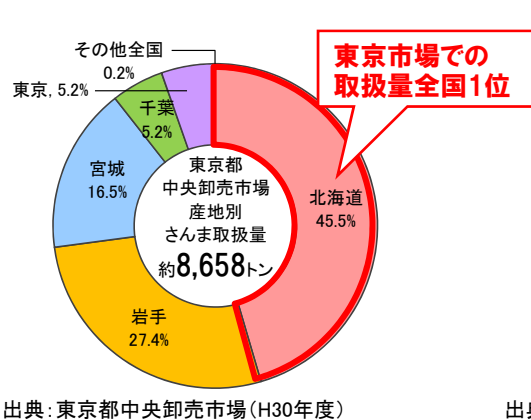
●北海道地域別漁獲量（令和2年）



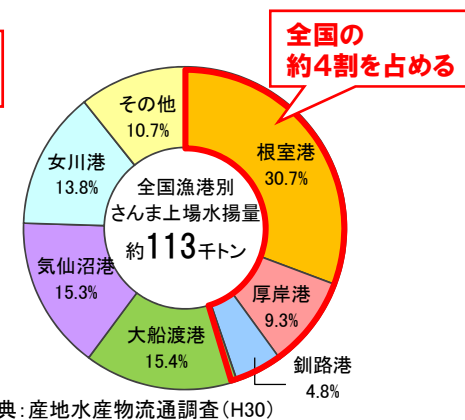
【さんまの出荷スケジュール例（厚岸町）】



▼東京都中央卸売市場でのさんまのシェア



▼全国の漁港別さんま水揚量



▼さんまの水揚げ風景



写真：釧路開発建設部

◎地域の特性に応じた魅力的なまちづくり

高断熱・高気密な北方型住宅など環境に配慮したまちづくりやまちなか居住のための住宅整備など持続可能なコンパクトなまちづくりの推進

主な要望箇所

●環境に配慮したまちづくり

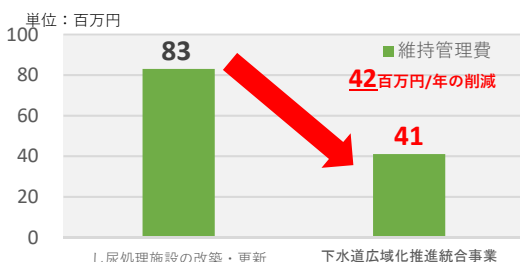
- ・脱炭素社会の実現に向けた公営住宅の整備や高断熱・高気密な北方型住宅の普及推進
【道営住宅：(仮称)日新町団地(苫小牧市)、市町村営住宅：茶内団地(浜中町)、北方型住宅：みどり野きた住まいのヴィレッジ(道、南幌町、関係団体)など】
- ・下水道施設の改築更新の推進
【石狩川流域(滝川市ほか)、函館市、小樽市など】
- ・合流式下水道の改善の促進
【滝川市、士別市、千歳市など】
- ・普及率の低い町村部の下水道の整備
【岩内町、浦河町、足寄町、木古内町など】
- ・下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設の整備推進
【余市町など】

●持続可能なコンパクトなまちづくり

- ・中心市街地に安心とにぎわいを創出するまちなか居住の推進
【道営住宅：(仮称)啓南団地(滝川市)、市町村営住宅：はるにれ団地(足寄町)など】
- ・魅力ある地域景観を創出する街なみ環境整備の推進
【篤泊市街地地区(利尻富士町)、都市景観形成地域(函館市)など】
- ・既存公営住宅の建替や長寿命化などによる良質な住宅ストックの形成
【道営住宅：大麻宮町団地(江別市)、市町村営住宅：西団地(美深町)、東町A団地(浦河町)など】
- ・地域経済や環境負荷低減に寄与する良質な民間住宅の整備・リフォームの普及推進
【地域住宅政策推進事業(道内全域)】
- ・空き家等対策の推進
【空き家再生等推進事業・空き家対策推進事業(道内全域)】
- ・中心市街地・商店街の活性化を目指したまちづくりの推進
【1・7地区優良建築物等整備事業(旭川市)など】
- ・都市再生整備計画に基づくまちづくりの推進
【都市再生整備計画事業(留萌市、南富良野町など)、都市構造再編集中支援事業(夕張市、苫小牧市、富良野市、名寄市、歌志内市、古平町、東神楽町、美唄市など)など】

【下水道汚泥処理施設の集約化】

▼下水汚泥処理施設の集約化による効果



▼し尿受入れ施設の整備



【中心市街地に安心とにぎわいを創出するまちなか居住の推進】

▼(仮称)啓南団地(滝川市)



【空き家等対策の推進】

▼空き家の活用

老朽化した古民家を移築し、店舗として活用(厚真町)



◎誰もが安心して暮らせるまちづくり

子育てに配慮した公営住宅など安心して子どもを産み育てることができる環境づくりやユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくりの推進

主な要望箇所

●子育て支援住宅の普及推進など安心して子どもを生み育てられる環境づくり

・子育て支援の充実を図る公営住宅の整備

【道営住宅：であえーるまほろば第二団地（余市町）、市町村営住宅：（仮称）新富士見団地（ニセコ町）など】

・公園施設の改築更新による安全で安心して利用できる、魅力ある公園の整備

【北海道子どもの国（砂川市）、ゆめの森公園（中標津町）、室蘭市都市公園ストック再編事業（室蘭市）など】

●ユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくり

・子どもからお年寄りまで安心して暮らせる住まい・環境づくり

【市町村営住宅：あけぼの団地（京極町）、川東団地（釧路市）など】

・幅の広い歩道や段差のない歩道の整備

【深川雨竜線（深川市）、停車場通（伊達市）など】

・民間住宅を活用した住宅セーフティネットの推進

【民間住宅等関連事業（道内全域）】

●安全で安心な道路交通環境の整備

・幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進

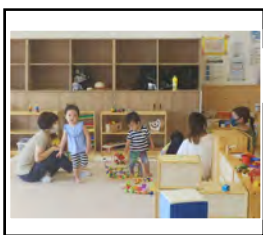
【国道230号喜茂別事故対策（喜茂別町）、忠別清水線（新得町）、交通安全対策（地区連携）旭町・大町地区（旭川市）、基線通（恵庭市）、文教通（函館市）など】

・地域の医療を支える交通ネットワークの整備

【旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）（再掲）、音威子府バイパス（国道40号）（再掲）、江差木古内線（上ノ国町・木古内町）など】

【子育て支援住宅の普及推進など安心して子どもを生み育てられる環境づくり】

▼子育て支援事業の実施状況



○市町が実施する子育て支援事業の内容

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

【ユニバーサルデザインによる公営住宅】

▼市営住宅まちなか幸団地（紋別市）



体勢を保持するためのL字型手すりの設置

取り外し可能な間仕切り

（身体状況の変化に応じて介助スペースの確保を可能とする多様性への対応例）

【公園施設の改築更新による安全で安心して利用できる魅力ある公園の整備】

▼北海道子どもの国（砂川市）



【通学路における交通安全対策の推進】

▼合同点検状況（中富良野町）



▼当別浜益港線（当別町）



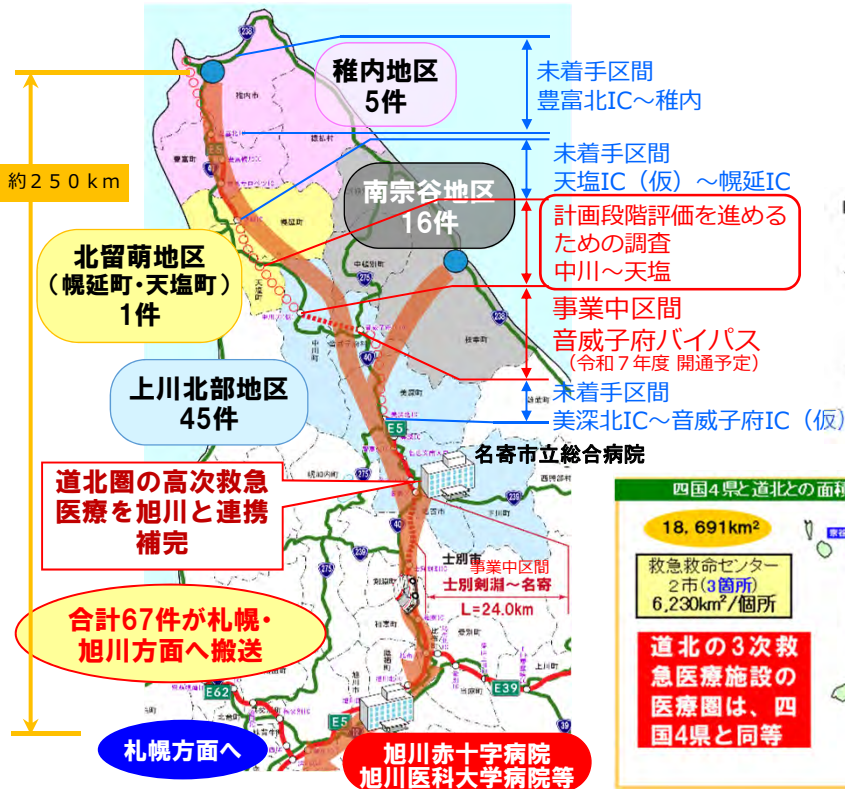
【道北地域の医療における現状】

稚内～旭川間は約250kmあり、東京～長野県長野市と同程度の距離を救急搬送しています。(片道約4時間)

道北地域の医療圏は、四国4県にほぼ等しい広さをカバーしているが、救命救急センターの数が限られているため、迅速性及び安定性の高い救急搬送ルート確保が課題。

高規格道路を整備することによる時間短縮効果や事故等に対する安全性向上は必要不可欠です。

【上川北部・宗谷管内の管外救急搬送 (R1)】



■名寄市～旭川赤十字病院間の所要時間の変化



資料：北海道開発局 (H29)

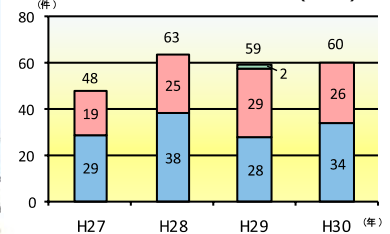


【遠軽・紋別地域の医療における現状】

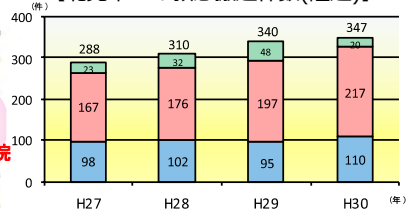
遠軽及び紋別地域において第三次医療機関である旭川赤十字病院や北見赤十字病院への救急搬送は重要な役割を担っており、旭川・紋別自動車道の延伸により搬送時の安全性向上や時間短縮が期待されます。



【旭川市への救急搬送件数(陸送)】



【北見市への救急搬送件数(陸送)】



資料：網走開発建設部調べ